

2006 年度小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 26 日作成)

小委員会名	調査診断指針作成小委員会	主 査 名：武藤 正樹 就任年月：2003 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工本委員会 (耐久保全運営委員会)	委員長名：田中 亨二 主 査 名：井上 照郷
設 置 期 間	2006 年 4 月 ~ 2008 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・2002 年度～2006 年度に最新の技術内容を収集・整理し、1993 年 1 月刊行「建築物の調査・劣化診断・修繕の考え方(案)・同解説」改定版の作成 ・2007 年度に「建築物の調査・劣化診断・修繕の考え方(案)・同解説」の改定案の完成および講習会の実施 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	本橋健司(独立行政法人建築研究所) 井上照郷(日本建築仕上材工業会) 武藤正樹(国土技術政策総合研究所) 五十嵐進(国土交通省)	榆木堯((財)ベターリビング) 近藤照夫(ものづくり大学) 林邦夫(都市機構)
設置 WG (WG 名：目的)		
2006 年度予算	100000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1.(2007 年度中には刊行物ができる予定)
講習会	1.(上記刊行物の説明会として開催予定)
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. スケルトンの執筆について概ね終了した。
委員会活動の問題点・課題	<ul style="list-style-type: none"> 1. 2007 年 10 月を目途に脱稿するため、執筆のスピードを高めたい。 2. 執筆原稿に沿った講習会の企画を行う。

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。